

# 2019 年度事業報告（案）

## ・全体総括

今年度は、地域活性化包括連携協定の中で、調布市を通してイトーヨーカドーへの要望として自主製品の販路拡大をお願いしたところ、飛田給のセブンイレブンに4事業所の自主製品を常設して頂くことが出来ました。また、障害福祉課や調布市長との懇談を継続していく中で、事業所へ専門職の派遣を要望したところ、障害福祉課より作業療法士を紹介いただき、希望事業所と結び付くなど、前進した一年でもありました。

一方で、2年目となる「ほりで〜ぷらん」を年6回開催するにあたり、プロジェクトを立ち上げ、同じ内容を2回実施する等、運営面での工夫をしながら取り組みました。事前打ち合わせや当日の運営など、加盟団体の協力で進められましたが、次年度以降も運営を支えるスタッフやボランティアの確保が課題となり、実施内容の見直しも検討する必要があります。

世界三大イベントの一つ ラクビーワールドカップでは「わくわ〜く」を通して、ラグビー関連記事を掲載でき、次年度のオリンピック・パラリンピックでも、連絡会として関りを探っていきたいと思います。

## ・定期総会

16回目となる定期総会を行い2018年度の事業報告、2019年度の事業計画及び組織体制について決議を行いました。

日時：2019年4月25日（木） 於：調布市こころの健康支援センター団体室AB

出席：23団体（有効総数35団体）

## ・代表者会議（年7回）

今年度も調布市長・障害福祉課との懇談を主に話し合い、各団体との情報交換を行いました。また、全体会と分科会（児童、生活介護等、就労継続支援）を分けて、より具体的な議論の場として設け、それぞれの課題について話し合いました。

総会 4月25日（木） 於：調布市こころの健康支援センター団体室AB（23団体35名）  
（第2回） 6月27日（木） 於：調布市こころの健康支援センター団体室AB（23団体28名）  
（第3回） 7月17日（木） 於：たづくり西館 健康増進室（20団体23名） 障害福祉課との懇談  
（第4回） 8月22日（木） 於：調布市こころの健康支援センター団体室AB（18団体24名）  
（第5回） 10月24日（木） 於：調布市こころの健康支援センター団体室AB（20団体24名）  
（第6回） 12月13日（金） 於：総合福祉センター 2階団体室AB（23団体25名）  
（第7回） 2月25日（火） 於：たづくり西館 健康増進室（23団体32名） 調布市長との懇談

## ・分科会

### ・就労継続支援B型

大量受注の受け入れ体制を検討し、納品受入拠点や受注の可否を検討するネットワークの構築を進めました。実際にネットワークでの検討はされませんでした。今後に向けた体制作りができました。

## ・生活介護

生活介護部会の提案で、連絡会に加盟していない事業所も含めたグループホーム連絡会が発足しました。

## ・児童

調布市との連携については、年ごとに積み重ねができ、軌道に乗ってきました。また、調布特別支援学校送迎に伴う電気通信大学駐車場借用については、学校との連携を含めて事業所間での課題の討議が不十分であり、次年度に引き続き課題となります。

## ・調布市長との懇談

今年度も下記のような多岐にわたる議題について、大変有意義な懇談会となりました。特に新型コロナウイルスの対応について前向きに心強くお話しいただき、今日までの積み重ねを実感した次第です。

日時：2020年2月25日（火）16:30～17:30

場所：調布市文化会館たづくり西館3階健康増進室（参加23団体32事業所）

議題（1）三市合同の施設建設状況について

（2）防災での調布市との連携について

（3）ICT活用について

（4）介護保険と障害者サービスの併用について

（5）調布市役所内の常設販売について

（6）オリンピックに向けての官公需や自主製品販売での連携について

（7）パラリンピックに向けての調布市との連携について

（8）その他

・経営ネットワーク支援事業について

・グループホームネットワークについて

・新型コロナウイルスの対応について

## ・調布市障害福祉課との懇談

代表者会で課題を整理し、共通な議題を中心に回答を頂きました。専門職の紹介については要望の実現など調布市の誠実な対応があり、意義のある懇談会となりました。

日時：2019年7月20日（木）16:30～17:30

場所：調布市文化会館たづくり西館3階（参加20団体23事業所）

議題（1）家賃助成のポイント制について

（2）日中一時支援の詳細について

（3）三市で計画している施設の進捗状況について

（4）調布市役所の売店について

（5）ほりで～ぷらんの継続について

（6）経営ネットワーク支援事業の継続について

（7）市内の空き家、空き地の情報提供について

（8）官公需拡大について

- (9) イトヨーカードーとの地域連携協定の進捗状況について
- (10) 専門職の方の紹介(情報)について
- (11) 障害児学童の進捗状況について

## **・学習会、施設交換研修**

### **○学習会**

今年度の学習会は、調布市障害福祉課より「相談支援事業所の役割」について、実際の相談例など具体的な話を交えて、市内の障害者の方々がどのような相談支援を受けながら支援事業所に繋がり生活しているか、障害福祉課のかかわりを具体的にお話しいただきました。その後、あらかじめ児童部会で選んだ3つのテーマで9グループに分かれて討議しました。

日 時：2020年2月6日(木) 18:30～20:30

会 場：総合福祉センター 201, 202, 203 会議室

内 容：1、「相談支援事業所の役割」

レポーター：障害福祉課 山口剛史氏

2、グループディスカッション

①他害・自傷への対応について(4グループ)

②性にまつわる課題について(2グループ)

③魅力ある職場づくり(3グループ)

参加者：59人(内：放課後デイ19人)

### **○施設交換研修**

全事業所を対象に研修参加希望者を募り、研修先を調整して下記のとおり実施しました。

研修期間：2019年7月～2020年1月まで

参加数：生活介護・就労継続B 26人

児童放課後等デイ 6人 計30人

### **○施設見学会**

今年度は連絡会主催で新たに見学研修を実施し、マイクロバスをレンタルし、先駆的な特例子会社の現場を見学してきました。夏場は40度になることもあるというパックの選別工場では、30分毎に水分補給をしながらベルトコンベアに向かって黙々と作業する社員の姿に圧倒され、10年の取組経緯も伺って多くを学ぶことができました。

実施日：2019年8月30日(金) 10:30～17:30

見学先：エフピコ愛パック(株)・エフピコダックス(株) 茨城県結城郡八千代町大字平塚4448

参加者：15人(作業所11、放課後デイ2、相談機関1、事務局1)

## **・経営ネットワーク支援事業**

東京都の包括事業の一環として、2011年から開始された調布市経営ネットワーク支援事業は、今年度の加盟数は36団体62事業所となりました。うち20事業所は放課後デイ事業で、当連絡会は調布市内の障がい児童も含めた福祉事業所ネットワークとして拡がりつつあります。幅広い取り組みは都内でも一定の評価を得ており、市内の官公需等も安定定着してはいるものの、作業所全体の工賃水準

は東京都平均をやや下回っており、今後はより効果的な受注開拓が求められています。東京都全体のネットワークで試行されている共同受注に関しては、課題であった物流拠点が創造印刷の参入により確保できたので、今後の大量受注の受託に向け可能性が拡がりました。

## 1. 「わくわ〜く」の発行

今年度は2020年に予定されているオリパラに向けた関連記事を組み入れながら、年2回、各7,000部発行に取り組みました。市内地域への配布も定着し、連絡会の広報誌として着実に浸透してきましたが、15号では訂正シールを貼っての発行となり、編集の強化充実が課題となっています。内容としては、オリパラに限らず障害者スポーツの振興や障害者の地域生活の充実を目指して、様々な角度からタイムリーな発信をめざしました。

## 2. 販路拡大

昨年度より推進されてきた調布市地域連携協定を契機として、市内のセブンイレブンでの菓子販売が1月より開始され好調な販売実績を上げています。が、これまで共同販売の場として成果をあげてきた市役所売店が8月末で終了しました。これまでに築いてきた自主製品販路の一層の定着を図るとともに、今後の販路拡大の新規開拓が課題となっています。

### (ア) 調布・多摩・府中3市合同販売会

今年度の3市合同販売会「第8回ほっとハート」は9月7日(土)府中・大國魂神社にて開催しました。34事業所(調布7、府中11、多摩14)が参加し、140万円の売上があり昨年を上回りました。

### (イ) 常設店舗販売等

今年度も市内8カ所で各事業所の自主製品を販売し、1昨年共同開発したクッキー「チャンスのたね」も4事業所で分担して引き続き納品しました。

店 舗	納 品 事 業 所		年間売上総額
市役所地下売店	5	クッキングハウス・しごと場・すまいる・はあとふる・ぴいす	103,545円 (8/22終了)
東山病院1階売店	5	クッキングハウス・しごと場・すまいる・はあとふる・リフレッシュ工房	194,274円
こころの健康センター	3	クッキングハウス・しごと場・調布ドリーム	132,400円
総合福祉センター	11	クッキングハウス・くすのき・しごと場・すまいる・ドリーム・はあとふる・ぴいす・ファースト・ポピーの家・めじろ・リフレッシュ工房	各事業所別
やさい畑	4	しごと場・はあとふる・ポピーの家・リフレッシュ工房	〃
ほっとれーる	10	旭出福作・クッキングハウス・しごと場・すまいる・そよかぜ・はあとふる・ぴいす・ポピーの家・リフレッシュ工房	〃
飯野病院	2	しごと場・はあとふる	〃

## 3. 受注促進

府中、多摩との共同受注として取り組んできた水道メーター解体作業は、調布からは3事業所が交代で府中現業事業所内での受託作業を継続しました。また、駅周辺整備に伴う駐輪場清掃作業の受託など、調布市内の官公需の受注も確実に増えてきました。

東京都ネットワーク経由の新規受注は、市内北部の民間駐車場清掃が開始され、図書館向けのブッカー作業の試行も開始しました。

#### 4. 障害理解のための取り組み、情報発信、地域啓発

##### (ア) アート展

調布市との共催で12月4日(水)～12月11日(水)たづくり2階南ギャラリーにて「パラアート展 CHOFU-fu fu」を開催し、17事業所が出展しました。昨年度に引き続きコーディネーター発案のトワル製作にも取り組み、たづくりのエントランスステージで展示したほか、市内の福祉ショップ6店舗でも各事業所の作品を展示しました。 来場者 1,063人

##### (イ) 映画上映会

今年度も「CIL ちょうふ」との共催でシアタス調布にて、中国製作の映画『海洋天堂』を2月15日(土)に上映しました。昨年同様QRコードからの申し込みの他、福祉ショップ8店舗でチケットを前売りし、当日は150席の会場が満員となりました。自閉症の青年とジェットリー演じる父親の絆を描く名作を上映後、就労支援センターちょうふだぞうの協力で展開した“地域で就労している障害者のミニトーク”も好評でした。

##### (イ) ホームページの更新

企業や他市の団体からの閲覧、照会も増えつつあるので、イベントや分科会、学習会の様子など、連絡会の活動をできるだけタイムリーに掲示できるように努めました。昨年度から市より受託した障害者余暇活動支援事業「ほりで～ぷらん」も活動報告欄に掲載し、連絡会の活動内容が拡がりました。

## ・ 共同事業

### ① 共同受注作業

連絡会を窓口として年間通して継続した共同受注作業は以下の通りでした。

- ・駐輪場清掃 : 市内7カ所の駐輪場を週1～2回、清掃・散水作業を6事業所で担当
- ・クリーンセンター清掃 : 新クリーンセンターの館内清掃を4事業所が交代で担当
- ・くすのき団地清掃 : 自治会より受託し2事業所が毎月清掃を実施
- ・六和精工 : 市内の民間業者の組立作業を6事業所で分担し週1回程度納品
- ・水道メーター解体作業 : 東京都水道メーター分解作業は、昨年度に引き続き3事業所が参加し、順調に実施ができました。

期間 2019年7月5日～2020年3月4日

参加事業所 しごと場大好き、わかば事業所、ファーストステップ

### ② 調布市役所ロビー展

市役所内での展示会は今年で9年目となりました。今年度は、1週間ごとに参加団体が交代で出展し、2週続けての開催となりました。市庁舎が耐震工事中で前週の準備ができなかったため事前準備が大変でした。また、前年度よりも参加事業所が減りましたが、多くの市民に立ち寄っていただき、売り上げも昨年度を上回る大変賑わった展示会となりました。(売上454,530円)

第1週目: 期間 2020年1月20日(月)～1月24日(金)

参加事業所: 調布ドリーム めじろ作業所 びいす リフレッシュ工房 クッキングハウス  
創造印刷 (6事業所)

第2週目: 期間 2020年1月27日(月)～1月31日(金)

参加事業所：すまいる ポピーの家 ファーストステップ しごと場大好き  
はあと・ふる・えりあ（5事業所）  
当番事業所：調布ドリーム

### ③ 各イベントでの販売実績

市や関連団体で毎年行われる各種イベントでの展示販売を継続し、さらに地域の新たなイベントにも積極的に参加して、作業所製品の販路拡大を図りました。

名称	実施日	主催団体	参加数	売上額
共生スポーツ祭り	5/11(土), 12(日)	日本障がい者スポーツ協会	5	69,570
第8回ほっとハート	9/7(土)	3市合同イベント実行委員会	9	各事業所別
商工まつり	9/14(土)、15(日)	調布市商工会	6	82,970
老人クラブ連合芸能大会	10/4(金)	調布市老人クラブ連合会	5	各事業所別
第3回ファブール祭	11/2(土)	東京慈恵医科大学	5	33,430
調布市役所ロビー展	1/20(月)～31(金)	調布市文化振興課	11	454,520

## ・受託事業

### ・公園清掃

各担当施設での作業内容も含め、全体的に大きなトラブルもなく、また緑と公園課との懇談を実施することでスムーズに取り組むことができました。

参加事業所：くすのき作業所 ポピーの家 わかば事業所 旭出調布福祉作業所 ぴいす 爽々苑  
クッキングハウス 調布市希望の家 しごと場大好き はあと・ふる・えりあ

### ・ごみリサイクルカレンダー配布

今年度、2事業所が各1地域を辞退されましたが、他の2事業所が各1地域を担当することとなり、連絡会担当地域には変更がなく実施しました。

大きな問題もなく、また配布漏れについても、昨年度との比較で減少となり、各事業所が配布業務や事務手続きが慣れてきた結果ではないかと思われます。

期間：2020年2月13日（木）～3月15日（日）（以降3月31日まで配布漏れ対応）

配布地域：市内およそ半分の地域

配布部数：67,861部

参加事業所：わかば事業所 わかば第一事業所 しごと場大好き めじろ作業所 ポピーの家 爽々苑  
ぴいす はあと・ふる・えりあ リフレッシュ工房 調布市希望の家 希望の家分場  
こひつじ舎 ファーストステップ らぷらんど調布（14事業所）

当番事業所 ファーストステップ

### ・地域活動情報紙じょいなす配布

2014年度から開始されたじょいなすの戸別配布作業は、昨年度より受注単価が見直され受託事業所も増加した上配布数の自然増により、順調に実績が拡張されました。

参加事業所：第1・第2わかば事業所 しごと場大好き めじろ作業所 ぴいす くすのき作業所

はあと・ふる・えりあ リフレッシュ工房 やわらぎの家 調布市希望の家  
 希望の家深大寺 希望の家分場 ファーストステップ 調布ドリーム  
 らぷらんど調布 創造印刷（16 事業所）

配布部数 54,084 部

## ・メール交換

メール交換事業は、図書館メール、施設間メール、都庁交換、教育メール、こころの健康支援センター清掃の5業務を受託し、今年度は、消費税アップに伴う予算配分や担当日変更がありました。事業の実施に当たっては市民サービス公社・図書館と定期協議の場をもって意見交換を行い、道路交通等の情報交換も迅速に行い安全な実施に努めてまいりました。

（今年度の配分額計算等の担当は、「はあと・ふる・えりあ」）

参加事業所：しごと場大好き 第1わかば事業所 第2わかば事業所 くすの木作業所  
 爽々苑 やわらぎの家 はあと・ふる・えりあ 第2ピーの家 第3ポピーの家  
 すまいる こひつじ舎 ファーストステップ ぴいす クッキングハウス  
 調布ドリーム（計15事業所）

## ・ふくしの窓配布

「ふくしの窓」配布事業は、シルバー人材センターとともに各奇数月に、14事業所が順調に取り組みました。今年度も納品日や納品部数の確認は事務局で取りまとめ、社会福祉協議会担当者と連携して配布数の調整をし、円滑な配布に努めました。今年度から部材の折作業は三つ折に統一されました。

参加事業所：わかば事業所 しごと場大好き めじろ作業所 ぴいす ポピーの家 こひつじ舎  
 くすの木作業所 はあと・ふる・えりあ リフレッシュ工房 ドルチェ  
 調布市希望の家 希望の家分場 希望の家深大寺 爽々苑（14事業所）

## ・プロジェクト

### ・ほりで〜ぷらん（実行委員会）

今年度は年度初めに参加希望者を募り、年6回実施しました。

#### 1. 「バスケットボールチームと交流」

日 時	2019年7月13日（土） Aプラン：10:00～14:00 Bプラン：10:00～12:30				
場 所	調布市総合体育館（調布市深大寺北町2-1-65）				
参加者	Aプラン:19人	Bプラン:27人	スタッフ	38人(うち学生12人)	付き添い 11人
内 容	調布市をホームタウンとするバスケットチーム「東京サンレーヴス」にご協力いただき、障害のある方と交流イベントを開催しました。シュートやパス体験をブースに分かれて練習したり、選手とミニゲームのほか、チームグッズがもらえるじゃんけん大会を行いました				

## 2. 「水遊び・フィンガーペインティング・スイカ割り」①

日時	2019年8月4日（日）11：00～15：00			
場所	なごみ地域交流室・中庭（調布市西町290-4）			
参加者	12人	スタッフ	26人（うち学生7人）	
内容	夏期企画として昨年同様、中庭にプールを設営し水遊びを行いました。室内では、パラアートコーディネーター羽塚氏にご協力いただきフィンガーペイントで作品を作りました。また、作品は12月に開催したパラアート展で展示しました。			

## 3. 「水遊び・フィンガーペインティング・スイカ割り」②

日時	2019年8月24日（土）11：00～15：00			
場所	なごみ地域交流室・中庭（調布市西町290-4）			
参加者	14人	スタッフ	27人（うち学生7人）	
内容	前回と同様の内容で2回目。室内では、パラアートコーディネーター佐藤氏にご協力いただきフィンガーペイントで作品を作りました。また、作品は12月に開催したパラアート展で展示しました。			

## 4. 「バスハイク さがみ湖プレジャーフォレスト」①

日時	2019年11月9日（土）8：30～15：30			
場所	さがみ湖プレジャーフォレスト（神奈川県相模原市緑区若柳1634）			
参加者	14人	スタッフ	24人（うち学生4人）	
内容	バスハイク企画の上期。現地では、フードコートで昼食後、希望に応じてアトラクションを楽しんだり、施設内を散策して過ごしました。			

## 5. 「バスハイク さがみ湖プレジャーフォレスト」②

日時	2019年11月24日（土）8：30～15：30			
場所	さがみ湖プレジャーフォレスト（神奈川県相模原市緑区若柳1634）			
参加者	15人	スタッフ	22人（うち学生3人）	
内容	バスハイク企画の2回目。現地では、フードコートで昼食後、希望に応じてアトラクションを楽しんだり、施設内を散策して過ごしました。			

## 6. 「アメリカンフットボールチームと交流」

日時	2020年1月18日（土） Aプラン：10：30～14：00 Bプラン：10：30～12：30			
場所	調布市総合体育館（調布市深大寺北町2-1-65）			
参加者	Aプラン：17人	Bプラン：23人	スタッフ	26人（うち学生3人） 付き添い 7人
内容	調布市をホームタウンとするアメリカンフットボールチーム「リクシルディアーズ」にご協力いただき、障害のある方とリクシルディアーズの交流イベントを開催しました。選手とのキャッチボールやキック、タックル体験のほか、マスコット「DEER君」との写真撮影、チアリーダーズとのダンスなどを行いました。			

実行委員会 開催日と参加人数	
①バスケ	4/12(金)：14名 5/20(月)：10名 6/10(月)：12名 7/5(金)：12名
②③水遊び	7/11(木)：13名 7/25(木)：10名 8/2(金)：9名 8/6(火)：10名 8/23(金)：11名
④⑤バスハイク	9/11(水)：13名 10/10(木)：13名 10/25(金)：9名 11/20(水)：13名
⑥アメフト	12/18(水)：5名 1/7(火)：8名
総括	2/26(水)：10名 3/13(金)：11名



## ・運動会

今年度も7事業所が参加し、紅白で競い合って盛り上がりました。天気には恵まれず生憎の大雨でしたが、昼食では体育館内のランニングコースで楽しくお弁当を食べたので、参加者全員やる気満々でした。各実行委員が役割をしっかりと実施したお蔭で無事に運動会を終える事ができました。

運動会終了後、参加者の忘れ物が数点ありましたので、来年度は各事業所へ解散前にチェックして頂くようお願い致します。  
(はあと・ふる・えりあ)

日時：2019年6月7日(金) 10:00～14:00

場所：調布市総合体育館 大体育場

参加事業所：まなびや 調布市希望の家 希望の家深大寺 わかば事業所 しごと場大好き  
はあと・ふる・えりあ ぴいす そよかぜ (7事業所)

参加人数：利用者・職員 約300名

## ・交流会

### ・スポーツ交流会

今年度も昨年に引き続き、府中本町のROUND1でボウリング大会を開催いたしました。

総勢19名の方にご参加いただき、200点越えのハイスコアの方から、70点代の創造幹事チームまで、幅広い実力の方々に参加していただき、とても賑やかに楽しい時間を過ごす事ができました。

お弁当はまい泉のハンバーグ弁当と豪華版で、プレーだけでなく食欲まで満たす事が出来た満足な時間となりました。

景品は、5,000円のクオカードから、スターバックスのチケットまで、各順位でバラエティーに富んだ物が揃い、獲得された参加者からは大いに喜ばれました。

日時：2019年11月12日(金) 18:30～20:00

場所：ROUND1 府中本町駅前店

参加者：スポーツ交流会19名

当番事業所：創造農園

### ・忘年会

平成最後の忘年会は62名の参加をいただきました。途中で豪華賞品争奪じゃんけんゲームを行い大変盛り上がりました。また、他施設職員同士の交流も深まり、とても有意義な時間を過ごせました。

日時：2019年12月13日(金) 19:00～21:00

場所：きちんと

参加：62名

当番事業所：ハッピーテラス

### ・事務局

年間7回開催。

4月10日(水)、5月21日(火)、7月23日(火)、10月8日(火)、11月26日(火)、  
2月4日(火)、3月17日(火)

今年度も会の運営の中心を担い、各事業の推進、代表者会の招集、調布市との連絡調整等を行いました。特に次年度に予定されていたオリンピック・パラリンピックに向けた協力に関する協議など調布市との検討等の機会が増加しましたが、年度末はコロナウィルス感染対策のため、緒会議の開催が困難となり事務局機能も停滞しました。

## ・派遣

- ・調布市障害者地域自立支援協議会（1名）
- ・調布市社会福祉協議会評議員（1名）
- ・共同募金調布地区協力会委員（1名）
- ・福祉人材育成センター運営委員会（1名）

# 2020 年度事業計画（案）

## ・今年度方針

---

今年度についても障害福祉課や調布市長との懇談、研修、交流等を継続していく中で、関係者や加盟団体を含めた繋がりを深めていきたいと考えております。

しかしながら新型コロナウイルス感染拡大防止の状況を見ながら今年度の事業の実施を検討していき、安全な事業実施が出来ない場合は、延期または中止という対応になりますことをご了承ください。

## ・定期総会（年1回、4月開催）

---

今年度も定期総会を開き、事業報告、事業計画、及び事務局体制等について検討し決議します。

## ・代表者会議（年6回、偶数月の第4木曜日）

---

昨年度に引き続き、連絡会全般にわたる広範な内容について話し合い、会の発展に努めます。

## ・分科会

### ・就労継続支援B型

共同受注の受入体制の向上や他事業所の取り組みを学ぶ機会として施設見学などの検討をしていきます。

### ・生活介護

グループホーム連絡会に積極的に取り組みます。また、コロナ他の感染症対策や災害対応等、共通課題を検討していきます。

### ・児童

様々な運営母体の事業所間での連携が当面の課題です。また、行政や他団体との連携を深めることに努めます。

## ・調布市長との懇談

今年度も引き続き市長との対話を深め、有意義な懇談会としていきます。

## ・調布市との懇談

今年度も引き続き、障害福祉課との対話を深め、障害者（児）福祉の充実に努めます。

## ・経営ネットワーク支援事業

2011年から取り組んできたこの事業を、今年度も引き続き展開していきます。

### 1. 販路拡大

#### ① 3市合同販売会（第9回ほっとハート）

今年度はオリパラ開催時期に合わせて調布で開催する予定でしたが、今後のコロナウイルス対策の状況に合わせて3市協力して検討します。

#### ② イベント関連

これまで取り組んできた各種イベントもコロナウイルス感染予防対策を見据えて、安全な実施を模索し販路拡大のルート・基盤づくりにトライしていきます。

### 2. 情報発信

各事業所、及び連絡会の事業・活動を広く市民に宣伝することは、障害者への理解を深め、福祉の輪を広げるうえで欠くことができないため、情報発信の基盤を一層かため、充実を図っていきます。

#### ① わくわーく 年2回発行

#### ② ホームページの更新等

新商品やイベントの紹介、あるいは事業活動中でのトピックや成果等のニュースを、各事業所から収集しスピーディに掲載できるよう、ネット環境を整備します。

#### ③ 映画上映会等の開催

映画のまち・調布での障害理解のイベントとして、関係団体、市民等を含めたネットワークの中で情報交換し、連携強化を図って実施に努めます。

## ・共同事業

---

### ・共同受注作業

府中市、多摩市と共同で取り組んできた東京都の水道メーター分解作業を始め、事務局を窓口として実施してきた共同受注作業の安全実施を推進していきます。また、引き続き3事業所が参加し、昨年度の実績をベースに工賃アップを一層促進していきます。

### ・常設店舗販売

昨年より開始したセブンイレブンでの販売も含め市内の常設7店舗で、菓子、手づくり品等の自主製品を販売し、さらなる販売経路拡大についても検討していきます。

### ・各種イベント展示販売

昨年度に引き続き、市や関係団体で催される各種イベントでの展示販売に、積極的に取り組んでいきます。

### ・調布市役所ロビー展

市民へのアピールに絶好の機会なので、昨年度に引き続き市庁舎内での開催を市へ働きかけていきます。

当番事業所：創造農園

## ・受託事業

---

### ・清掃業務

安定した受託事業の大きな柱として、今年度も受託していきます。  
(公園清掃・駐輪場・団地・クリーンセンター)

### ・ごみリサイクルカレンダー配布

今年度も昨年度に引き続き、事務局、当番事業所と事業所間の連携を密にして配布を実施します。ミスや配布漏れを無くすため、全事業所で情報を共有しながら細心の注意をはらって業務を行い、ミスや配布漏れが生じた場合には連絡を取り合い迅速に対応します。(当番事業所：らぷらんど調布)

### ・メール交換

常に関係機関との情報共有と円滑な意思疎通をすすめ、丁寧で事故のない業務を行っていきます。新型コロナウイルス感染予防にも配慮し、連絡会・公社と連携して迅速に対応しながら安全実施の体制をつくっていきます。(担当：第3ポピーの家)

### ・「ふくしの窓」配布

調布市社会福祉協議会との情報共有と円滑な意思疎通を進め、丁寧かつ事故のない業務を行っていきます。昨年どおり、各奇数月の月初配布となります。

### ・地域活動情報紙「じょいなす」配布

今年度の実施については年末か12月を予定しているので、安全実施に向け準備していきます。

## ・プロジェクト

---

### ・障害者余暇活動支援事業(ほりで～ぷらん)

実行委員会を中心に地域団体や学生ボランティアの協力も得て、新型コロナウイルス感染予防の状況を見ながら安全な実施を検討していきます。出来るだけ多くの参加者が楽しめる活動を提供できるよう、連絡会全体の事業として取り組んでいきます。

### ・運動会

今年度も安全に配慮した楽しい運動会を目指して、新型コロナウイルス対策の状況により開催時期を検討し、実施に向け取り組んでいきます。

## ▪ **研修・交流**

---

### ▪ **学習会、施設交換研修**

学習会・施設交換研修ともに、新型コロナウイルス対策の状況をみながら実施に向け準備します。新たな刺激を受けたり学んだりすることができる場として、全事業所を対象に有効な研修を計画します。

### ▪ **交流会**

スポーツ大会、忘年会等職員間の交流を目的としたイベントについて企画実施を行います。

## ▪ **組織体制**

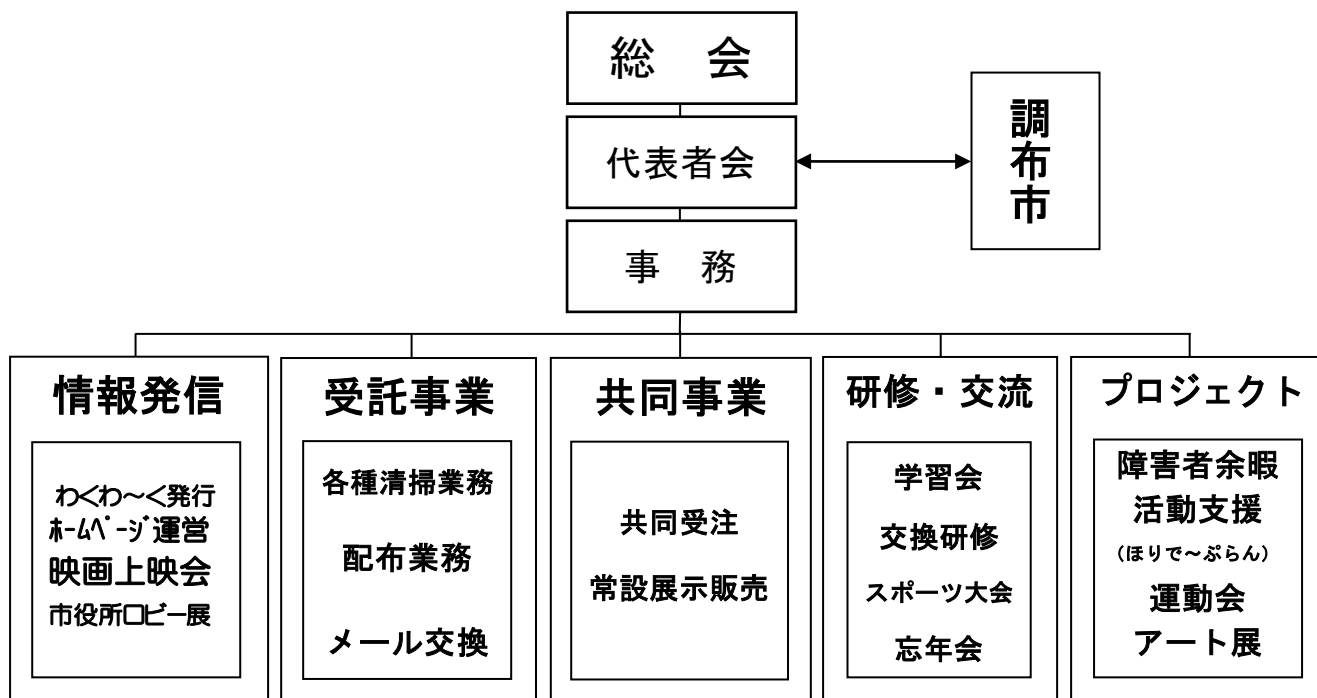
### ▪ **事務局**

今年度は事務局員を補充し、各セクションとの連絡調整・代表者会の招集・調布市との連絡調整等を進めながら、各事業が円滑に実施できるよう努めます。

### ▪ **派遣**

- ・調布市障害者地域自立支援協議会（1名）
- ・調布市社会福祉協議会評議員（1名）
- ・共同募金調布地区協力会委員（1名）
- ・福祉人材育成センター運営委員会（1名）
- ・調布市障害者総合計画策定委員会（2名）

## 2020年度調布市福祉作業所等連絡会組織体制



### 活動要領

セクション名	活動日	構成	内容
代表者会議	偶数月第4木曜日	加盟代表者	市との懇談・重要案件の決定・情報交換・研修事業・共同事業・委託事業 プロジェクトの招集
研修・交流	年数回	加盟施設担当者	研修・交換研修・スポーツ大会・忘年会
共同事業	必要に応じて随時	該当施設担当者	共同受注・展示会・常設展示販売
受託事業	受託内容に応じて日常的に実施。会議等は必要に応じて随時	該当施設担当者	清掃業務・メール交換・配布業務（ゴミカレンダー等）
プロジェクト	プロジェクト内で決定	該当施設担当者	障害者余暇活動支援（ほりで〜ぶらん）運動会
情報発信	必要に応じて随時	該当施設担当者	わくわ〜く編集会議・ホームページ更新 映画上映会実行委員会・
事務局	必要に応じて随時	下記担当者	各セクションとの連絡調整・代表者会の招集・市との連絡調整・会計 経営ネットワーク支援事業

### 事務局

事務局候補	所属	氏名
代表	めじろ作業所	大澤 宏章
事務局長	わかば事業所	内藤 俊明
総務	ふみ月の会	朝香ちよみ
総務	しごと場大好き	亀田良一郎
総務	わかば事業所	長尾 英治
総務	創造農園	諏訪 智 岡崎伊呉子
総務	希望の家	朝日 敏幸
総務	ファーストステップ	名古屋 一
総務	ドルチェ	木内 洋
経営ネットワーク支援・会計		松井久美子 佐田 友美

交流会担当	
忘年会	グリーンアップル
スポーツ交流会	TAKUMI 調布
運動会担当	
しごと場大好き	近田
会計監査	
Merk 調布	
ほりで〜ぶらん	
ぴいす	舛田